

## 発行10年！“日本の城シリーズ”の楽しみと私の城自慢 [文・編集部／中尾 英雄] …… 2

## カラー連載

わたしの大好きな切手③

防災「炎と風」 谷之口 勇さん(鹿児島県) …… 1

郵趣風土記～マテリアルでたどる地域郵便史～① [板橋 祐己]

集落移転を経験した下総国 中田局 …… 8

カラーで見る郵趣百科事典③ [魚木 五夫]

切手の発行目的③

「不足料切手」「公用切手」 …… 10

エリザベス女王と英国切手(中) [佐藤 明夫]

マーチンシリーズの完結～さまざまな楽しみ方～ …… 12

押さえておきたい“日本切手の壺”⑬ [山口 充]

芦ノ湖航空切手の使用済マルチプル …… 16

## 注目の新刊

郵便×歴史シリーズⅡ『現代日中関係史』 …… 14

## 追悼

天野安治さんを偲んで …… 36

## トピック

文献紹介 フェルペンバウアー・カタログ [魚木 五夫] …… 41

## 連載

著名人の手紙 ⑬③ [新垣 千尋]

小説家 池波正太郎 …… 31

郵趣家の書齋～さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて⑨ [佐伯 幸一]

吉村順子さん

～旧局舎を修復して地域密着のカフェに～ …… 32

切手女子流“切手の楽しみ方”⑤ [ばば ちえ]

1枚のはがきで回覧押印「くるくる風景印」 …… 34

サラリーマン収集家によるコレクションづくり奮闘記② [姉川 義治]

魚木先生との出会い …… 38

全国支部に見る支部活性化のノウハウ③

神戸郵趣会(兵庫県) …… 39

季節とともに楽しむ 風景印歳時記③

3月／弥生 …… 40

## 丸ごと！世界新切手ニュース(80ヵ国946種を掲載)

編集部おススメ！話題の新切手から ①⑩ …… 49

ワールド スタンプ ナウ ②⑫ [福山 哲太郎]

時代のシンボル「スマホ」と「ドローン」 …… 50

『ビジュアル版』(図版ページ) …… 52

『テキスト版』(解説ページ) …… 65

## 情報・コミュニケーション

3月のイベント・スケジュール …… 18

日本新切手ニュース：「江戸ー東京シリーズ」第3集 ほか …… 20

郵趣の目・国内情報：FSC認証紙の「胡蝶蘭はがき」続報 ほか …… 25

郵趣の目・海外情報：フランスが普通切手「赤」の切手を廃止 ほか …… 27

切手の博物館ニュース：2023年度企画展示予定 ほか …… 29

読者のページ おたより喫茶室 …… 42

## 協会事業のページ

STAMP-SHOW2023案内＆寄附金のお願い …… 75

年会費改定のお知らせ／「全国ミニ切手展」開催数(最終報告) …… 76

2023年新春交歓会開催報告／JAPEX2022収支報告と謝辞 …… 77

研究会一覧／研究会・支部定例会 …… 78

開催録／次号予告ほか …… 79

公益財団法人日本郵趣協会のご案内 …… 80

## 巻頭言

## 天野安治先生を偲んで

日本郵趣協会を今日まで導いていただき、また、日本郵趣の基盤を作られた天野安治先生の訃報が届いたのは1月のことでした。

天野先生は、独自の視点でいくつもの収集体系を作られ、その体系を『郵趣』などを通じて広く普及されました。その収集体系は、日本の郵便印に初めて系統的分類を確立した二重丸印の研究に始まり、日本切手に系統的な色調分類を持ち込んだ菊切手の分類、当時は切手や郵便印に興味を集中していたいわゆる「エンタイア」に対して郵便規則からのアプローチを提唱、記念切手の使用済収集提案など多岐に亘りました。これらの収集体系は日本郵趣の大きな流れを作り、そこから派生した流れは今もわたしたちの収集の中に脈々と流れています。

天野先生は、地方郵趣の活動にも大きな功績を残されました。全国区で活躍された先生ですが、広島を拠点とした地方郵趣活動にも力を注がれました。数ある地方活動の中でも、地方切手展は特筆すべきものです。全国から高レベルの作品を集めて地元の郵趣家に見ていただくスタイルを確立しました。この活動は、今日、各地で行われている地方展に引き継がれています。

天野先生の訃報にふれた時、先生のお人柄、語り合ったこと、譲っていただいた切手などが頭を巡りました。郵趣と日本郵趣協会を愛した先生の思いを胸に、さらなる郵趣界の発展を目指すことが恩返しになると信じています。日本郵趣界をここまで導いていただいた天野先生のご冥福をお祈りします。

JPS理事長 山田 廉一



## 表紙の切手より

「詞」は、唐の時代に西方から入ってきた音楽につけた歌詞が起源で、それまでの貴族文化とは異なり民間から生まれたとされています。庶民文化が盛んとなる宋代に大流行し、この時代を代表する文学形式となりました。表紙を飾る中国マカオ(59・69㌔)の切手は、様々な想いにふける「詞人」たちの姿とその空気感を柔らかに表現しています。